

# 円陣～エンジン～



令和元年 6月20日  
根獅子小 校内研修通信 No3  
文責 松田 優子

5年生の野外宿泊学習、大変お疲れさまでした。また、一段と成長した5年生の姿が、見られることでしょう。教頭先生から平成31年度の学力調査の結果が出ていました。みなさんご覧になられたでしょうか。ほとんどの項目で、県の平均を上回っていました。今後もさらなる向上が見込まれます。井上先生を中心に頑張っていきましょう。

さて、今回の校内研修ですが、以下の3点の検討をお願いしたいと思います。

1 6月17日の会議の報告（別紙参照）

2 7月11日（木）の日程について

研究授業・・・5校時（14:00～14:45）

授業研究会・・・

※ 中部中学校から4名、紐差小学校から4名来校されるとのことでした。。

17日の話し合いでもありましたが、3校独自の研究の中に「人権」の視点が入っていればよいとのことだったので、今後の研究は、根獅子小独自の研究を進めていきたいと思えます。

根獅子小独自の研究とは、① 展開案のみの指導案（反応予想と応答予想をしっかりと）・

一枚授業シート・・・展開案にどれだけ応答予想を書けるかに時間を割くために、簡易化した指導案。

② 子どもの見取を中心とした校内研究、指導案検討・授業研究

③ 人権の視点を入れた指導案作成

④ 学び合い

3 研究授業の内容について

単元名「水のかさをはかろう」

目標：体積の測定などの活動を通して、長さの学習を基に単位の意味と測定の原理を理解し、体積の測定ができるようにするとともに、体積についての量の感覚を身につけられるようにする。

第6時/8 目標：体積の加減計算の仕方を理解する。

授業者の考え

○単位の入った加減の計算を長さのところで学習している。長さのところでは、5人が5人とも誤答であった。実際の長さを示しながら、正解を導き出した。その学習を生かして同じ単位同士を足せばいいという考えを導き出せないか。

○考えが出ない場合は実物を示しながら考えを導き出していく必要性。

